

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

<本年度の目標>

- 学校運営の基本方針について理解を深めるとともに、連携をして活動を推進していく。
- 保護者や地域の協力体制や教育力を高めるような対策を考えていく。
- 引き続き「ネットやSNSへの向き合い方」「読書に親しむ子」について、委員会としてできることを考えていくとともに、子供たちの様子や学校評価から見える課題について、重点を決めて話し合い、対策を練っていく。
- なないろパレット（学習支援ボランティア）の活動の充実を図っていく。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

- 資料に基づき、校長先生より学校運営の基本方針について丁寧な説明を受けた。
- 各学年の基本方針について学年の先生方との直接の質疑ができ、子どもたちの実態を踏まえた指導の工夫など知ることができた。
- 委員からも子どもたちの地域での様子などについて意見が出され、話し合いが深まった。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

- 「読書」への取り組みの現状や今後の方策について話し合いを深め、昨年度よりさらに充実した活動に結びつけることができた。「SNSへの向き合い方」に関する対策については、いろいろな対策を立てているが、なかなか結果に結びついていかない現状が話し合われた。
- 学習支援ボランティアの大切さや、充実させるための話し合いを深めることができた。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

- 協議結果など学校のホームページにて発信をしている。
- 「学力調査結果から見えること」「読書やSNSへの取り組み」など、子どもを取り巻く現状や学校の指導、家庭に協力してもらいたいことなど、学校だよりで発信した。
- なないろパレット(学習支援ボランティア)の活動について、地域・家庭に連絡できた。

<評価項目4> 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

- 子どもの学びや成長を地域・家庭で支えるという視点を基に、必要な改善点や連携のあり方について協議し、発信していく。
- 引き続き「読書に親しむ子」「SNSへの向き合い方」について、委員会としてできることを考えていくとともに、子どもたちの様子や学校評価から見えてくる課題について、重点を決めて話し合い、対策を練っていく。
- なないろパレット(学習支援ボランティア)コーディネータと教師・保護者との連携を密にし、活動の円滑化と充実を図っていく。